

セントラルパーク基本計画（たたき台）

その 3

< 内容 >

第 V 章 管理運営計画

目 次

第Ⅰ章 計画の前提	1
1. 目的	1
2. 対象エリア	2
3. 計画期間	2
第Ⅱ章 与条件と課題の整理	3
1. 上位・関連計画での位置づけ	3
2. 現況把握	9
2-1 歴史的特性	9
2-2 自然的特性	19
2-3 社会的特性	33
2-4 施設の現況	45
2-5 管理運営の現況	67
2-6 利用状況	85
3. 利用者の意見	91
4. 課題の整理	93
4-1 周辺地域からの視点での課題	93
4-2 両公園における課題	96
第Ⅲ章 計画方針	103
1. 基本理念と基本的な方向性	103
(1) 基本理念	103
(2) 基本的な方向性	103
2. 利活用イメージ	104
(1) 利活用のキーワード	104
(2) 利活用イメージモデル	104
第Ⅳ章 再整備計画	117
1. 基本的な考え方	117
(1) 周辺地域の整備の方向性	118
(2) 歴史的特性からみた整備の方向性	121
(3) ゾーニング	122
(4) 主要な動線	125
(5) 主要な施設	126
(6) 両公園の整備方針	128

2. 動線計画	130
(1) 基本的な考え方	130
(2) 動線	130
(3) 幅員構成	131
3. 施設計画	132
3-1 来園者数の設定	132
3-2 便益施設計画	134
3-3 サイン計画	141
3-4 防災計画	142
3-5 植栽修景計画	143
3-6 設備計画	149
3-7 主要施設計画	150
(1) 大濠公園北側	151
(2) くじら公園～西側広場	153
(3) 舞鶴中学校跡地・城内住宅	155
(4) 舞鶴公園線沿線	157
(5) 福岡城本丸・二ノ丸周辺	159
(6) 鴻臚館跡	161
(7) 福岡高等裁判所	163
4. 再整備平面図	165

第V章 管理運営計画 166

1. 基本的な考え方	166
(1) 管理運営の方向性	166
(2) 管理運営方針	167
2. 企画運営計画	170
(1) 企画運営の基本的事項	170
(2) エリアごとの企画運営目標	172
(3) 両公園を巡る利用プログラム	178
3. 維持管理計画	182
(1) 維持管理の基本的事項	182
(2) 区域ごとの維持管理目標	185
4. 地域連携・体制づくり	190
(1) まちづくりとの一体化	190
(2) 民間活力による魅力づくり	191
(3) 県民・市民共働の運営体制・仕組みづくり	192

第VI章 将来像の実現に向けて

1. 事業スケジュール
2. 将来像の実現に向けた課題

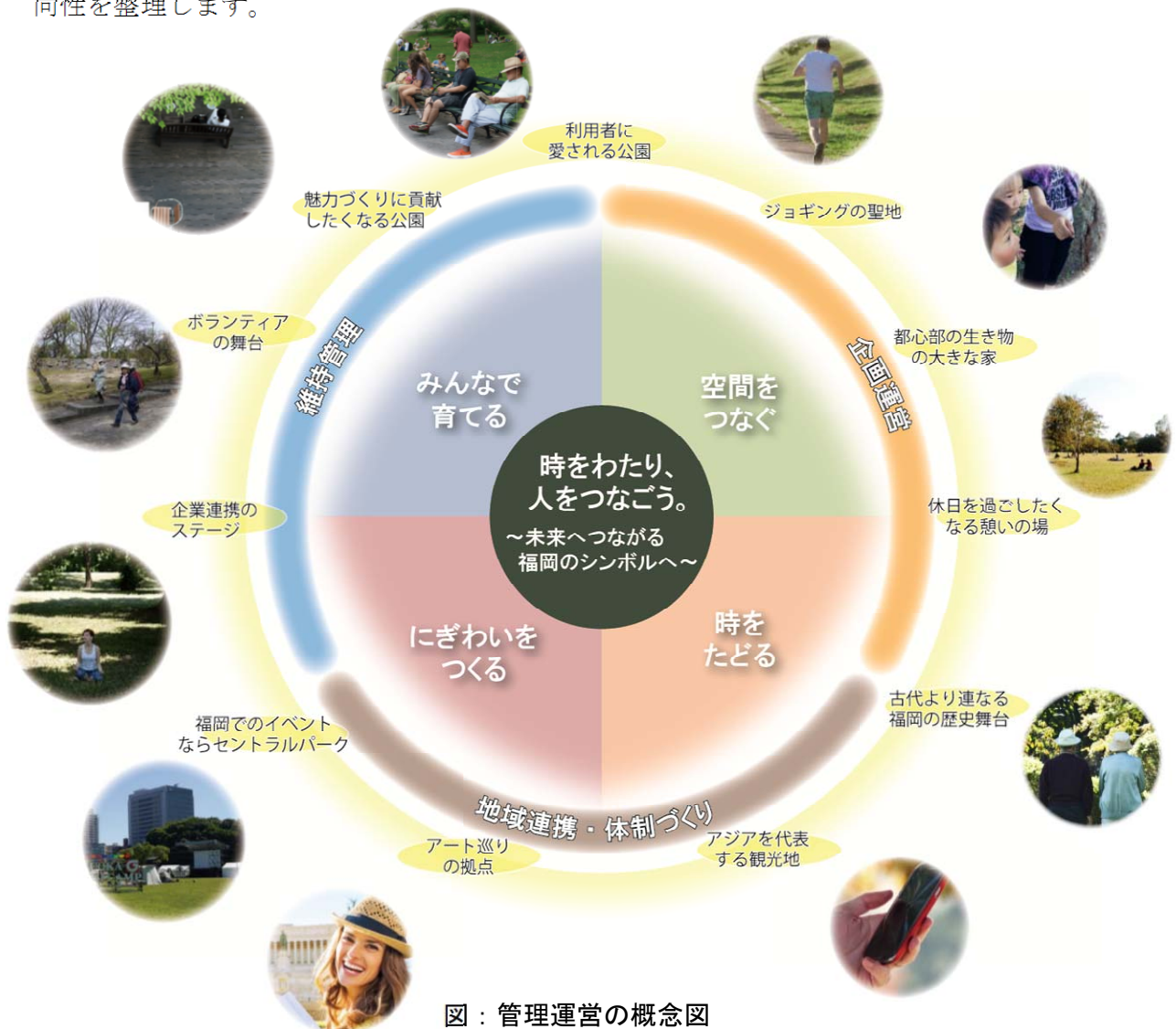
第Ⅴ章 管理運営計画

1. 基本的な考え方

ここでは、将来の利活用イメージの実現に向けて、どのような公園運営を展開していくか、管理運営の観点から内容の整理を行います。

(1) 管理運営の方向性

大濠公園・舞鶴公園は、歴史、芸術文化、観光の発信拠点であることをはじめとして、自然環境保全や防災、レクリエーションなど多くの機能を有しています。これらの拠点性や機能を高める管理運営の実現に向けては、県民・市民の大濠公園・舞鶴公園に対する愛着や誇りの醸成が重要です。今後の公園運営へより高い協力意識・体制を構築し、利活用イメージで示された将来像を実現するため、公園を利用しやすい状況に保ち、参加したくなる活動や取組みについて、県民・市民や企業・関係者の声を取り入れながら、共働によるパークマネジメントの方向性を整理します。



大濠公園・舞鶴公園が持つそれぞれの個性を十分に発揮させるパークマネジメントを実践するため、管理運営方針を定め

- ①歴史性や場所性を活かした、利用者に喜ばれ、市民活動の支援にもつながる「企画運営」
- ②公園を構成する各施設の安全性や快適性を維持・向上していくための「維持管理」、
- ③地域住民から県民・市民、各種団体や企業等の様々な主体との共働を育むための「地域連携・体制づくり」

の各分野において、方針に沿った取組みを展開していくことが重要です。

ここでは、ゾーニングごとに管理運営の考え方を整理した上で、企画運営及び維持管理の具体的な取組みの方向性について整理し、その実現に向けた地域連携や体制づくりの考え方を示します。

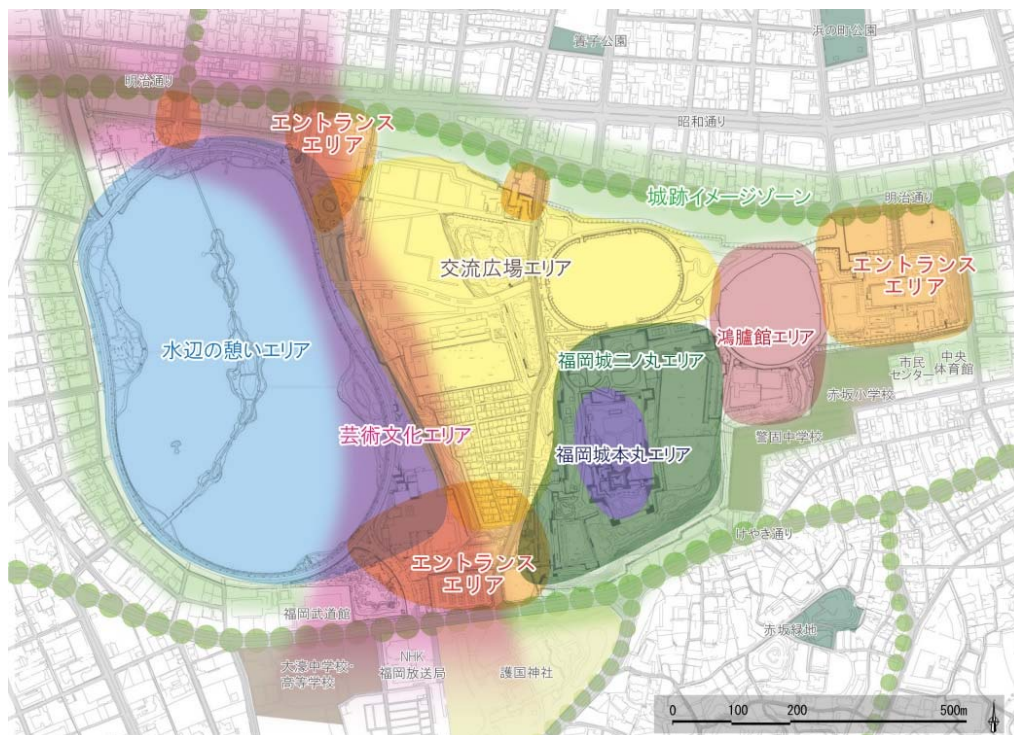
また、今後の市民や企業の参加の中で、これらの管理運営の取組みは現在の行政主導の状況から、利用者が主体となった運営を目指し、連携体制の構築を行っていくものとします。



図：管理運営主体の概念図

(2) 管理運営方針

ここでは、ゾーニングごとに管理運営方針を定めるものとします。また、第IV章 再整備計画を踏まえ、それぞれのエリア内における管理運営の取組みが連動し、公園全体としての一体的な取組みにするものとします。



図：管理運営区域区分図

ゾーン・エリア		管理運営方針
城跡イメージゾーン	憩いと文化の交流ゾーン	①水辺の憩いエリア <A 大濠周辺区域> 安全で快適な利用に向けた施設の管理をはじめ、公園のエントランス性を高める演出や水辺を生かした企画、芸術文化施設や便益施設等と連携した取組みを行う。
	憩いと文化の交流ゾーン	<B 日本庭園区域> 庭園の価値を高める管理をはじめ、収益と利便を兼ねたサービスを提供するほか、利用を促進するためのイベントや魅力のPR、周辺施設との連携を行う。 <C 福岡市美術館区域> 美術館と公園が連携し、季節・テーマ別の連携イベントや外構等における公園との一体利用を行う。 <D 能楽堂周辺区域> 公園利用者に対し、能楽等の文化に触れる機会の創出を目指した企画運営の連携を行う。 <その他> 主園路沿いに設ける小広場が小規模な演奏や大道芸等の場として活用されるよう、運営ルールを確立する。
	憩いと文化の交流ゾーン	③交流広場エリア <E 交流広場周辺区域> 日常的に憩える芝生広場としての管理をはじめ、定期的な季節やテーマ毎の集客イベントが快適に実施できる環境を維持し、利用促進を図る。 <F ボタン・シャクヤク園周辺> ボタン・シャクヤク・フジの生育状況を維持・向上させ、利用促進を行うための案内等を行う。 <G 陸上競技場周辺区域> 安全で快適な利用に向けた施設の管理、スポーツ振興や健康増進に向けた企画を行う。
	鴻臚館跡ゾーン	④鴻臚館エリア <H 鴻臚館周辺区域> 鴻臚館跡の魅力を向上させるための管理を行うとともに、鴻臚館を学ぶための情報発信等のPRを行う。

城跡イメージゾーン	福岡城跡ゾーン	⑤福岡城本丸・二ノ丸エリア  	<I 福岡城本丸・二ノ丸エリア> 福岡城跡の魅力を向上させるための管理を行うとともに、ARやVRによるIT技術等を活かした歴史学習の企画を展開する。また、桜の保全や活用による名所としてのPRに努める。
		⑥エントランスエリア 	<J 裁判所跡地周辺> 安全で快適な利用に向けた施設の管理をはじめ、ガイダンス施設における分かりやすい案内や、エントランス機能を高める緑の演出、周辺の歴史施設との連携した取組を行う。 <K 大濠公園駅前入口周辺> 公園の出入り口を演出する花や緑の演出をはじめ、公園利用を促進する分かりやすい案内、場所性や広い歩行空間を活かしたイベントの実施等を行う。 <その他> 公園への重要な入口として、分かりやすい公園の案内や、周辺の歴史・文化施設と一体となったエントランス機能の向上を図るとともに、国体道路からエントランス空間への視認性を高める。
		⑦城跡イメージゾーン	<L お堀周辺区域> お堀の適切な水質や植生の管理を行うとともに、沿道の民有地と一体となった景観形成や利活用の魅力づくり、情報発信を促進する。

2. 企画運営計画

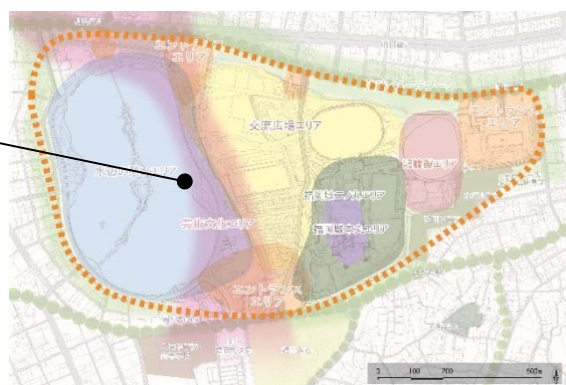
公園の管理運営においては、県民・市民のライフスタイルの多様化や高度化、少子高齢化など、様々な社会ニーズの変化に柔軟に対応していくことが重要です。ここでは、イベントや利用プログラム、情報発信からなる企画運営の基本的事項や区域ごとの企画運営目標等を定めるものとします。

(1) 企画運営の基本的事項

① イベント・利用プログラム

大濠公園・舞鶴公園は、歴史施設や芸術文化施設、豊かな水辺や緑の自然環境を有しており、来園者の様々なアクティビティに対応し、また新しい利活用の可能性を秘めています。公園の企画運営としては、歴史探訪や自然観察、ジョギングなどの現在の利用促進を図りながら、更に公園が持つ場所の魅力や環境を活かし、**ARやVRなどのデジタル技術の活用を視野に入れた新たなイベントやプログラムづくりを行うもの**とします。また、**海外からの来園者でも利用することができる通訳ガイド付きのプログラムなど、誰もが参加できるイベントやプログラムの充実を図ります。**

- 大型集客イベント：花火大会、コンサート等
- スポーツイベント：ジョギング大会、スポーツ観戦等
- 歴史系イベント：歴史探訪等
- 地域イベント：地域のお祭り等
- その他のイベント：クリーンアップ活動等



図：公園全域でのイベント・利用プログラム

■ 公園全域におけるイベント

区分	イベント例	連携可能性	内容
■ 大型集客イベント	四季のお祭り	さくらまつり実行委員会 おおほりまつり実行委員会等	現在行われている大型集客イベントと連携・拡充する。 メイン会場を交流広場とした、公園全域を利用したイベントとする。
	音楽祭	県・市内のサークル団体 教育機関 等	メイン会場を交流広場、裁判所跡の芝生広場や陸上競技場をサブ会場とし、県・市で音楽活動を行っている団体のステージイベントを実施する。
	国際交流イベント	旅行会社 等	国際交流を育むイベントとして、グルメフェスティバル、ステージイベント等を公園全域を利用して実施する。
■ スポーツイベント	マラソンフェスティバル	県・市内のサークル団体 教育機関	大濠周辺、陸上競技場を中心としたマラソン大会。園外をコースに含んだ実施を検討する。
■ 歴史系イベント	福岡の歴史まるごと体験	能楽堂 日本庭園 福岡市美術館 鴻臚館 福岡城 むかし探訪館	園内の歴史資源に関わる各主体が一体となって企画・実施を行い、福岡県・市が有する歴史の重層性を体感することのできるイベント。園外の歴史的な資源とも連携して実施し、国内外へ福岡の魅力をPRする。
■ 地域イベント	県・市のイベントとの連携	県・市でイベントを主催・共催する各団体	園外で行われている全県・全市的なイベントにおいて、イベント会場のひとつとして連携実施を行う。
■ その他のイベント	公園クリーンアップ活動	県・市民 公園周辺の民間企業 公園を定期的に利用している団体 教育機関	ゴミ拾いをはじめとする清掃活動を市民参加により実施する。民間企業のCSR活動と連携を図る。

②情報発信

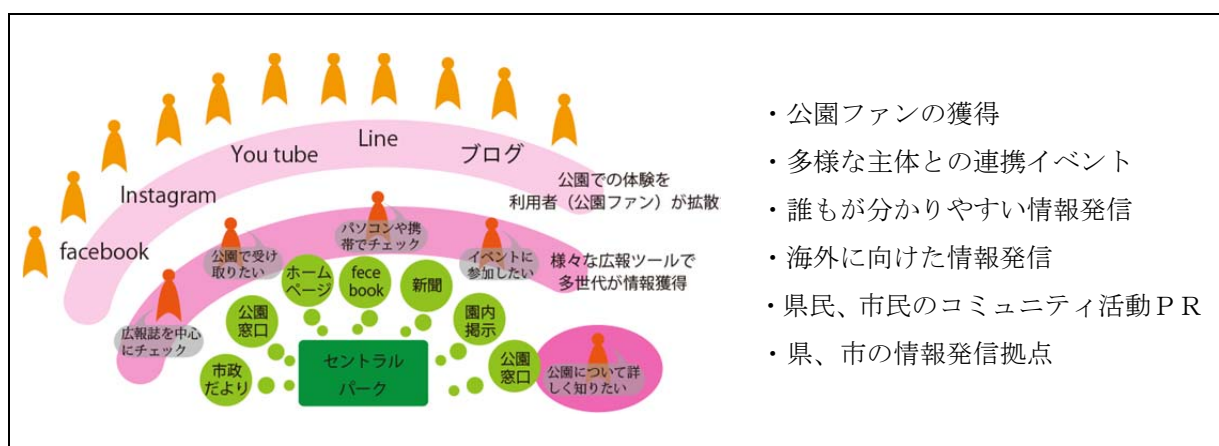
公園の基本的な情報発信やイベント告知、安全管理だけにとどまらず、県民・市民の取り組みや県・市の観光情報を発信していくことで、福岡の情報発信の拠点となることを目指します。また、県民・市民と共働で、情報紙やインターネットを介した情報発信を行っていきける仕組みづくりを検討します。さらに、来園者自身がSNS等を通じて情報発信ができるよう、W i - f i等のインターネット環境の向上を図ります。

(7) 案内情報

- ・ イベント案内：イベントの実施日時や内容、参加条件などを伝える
- ・ 見頃案内：桜の開花や紅葉の時期等を伝える
- ・ 利用受付案内：スポーツ施設などの利用受付方法や空き情報などを伝える

(1) 管理情報

- ・ 市民活動等の紹介：ボランティア・市民団体の活動や募集情報を伝える
- ・ 禁止事項等の伝達：公園の利用規則や禁止事項などを伝える
- ・ 緊急案内：休園や開園時間の変更、利用禁止区域などを伝える



図：県民・市民と一体となったPR活動イメージ

●公園全域における情報提供

提供場所	提供内容	媒体・利用方法
全域	・ 公園の各エリア、施設のガイド情報	貸出する携帯端末や携帯電話のソフトウェアを利用し、セルフガイドによる公園巡りを行う。通信ネットワークに関しては、公園全域をカバーするW i - f i通信を用いる。
全域	・ イベントの実施情報（当日のイベント開始や変更に関する速報）	貸出する携帯端末や携帯電話のソフトウェアを利用し、当日のイベント開始や時間・場所の変更、また、安全管理に関わる情報を、速報で音声や文字情報で来園者に通知する。

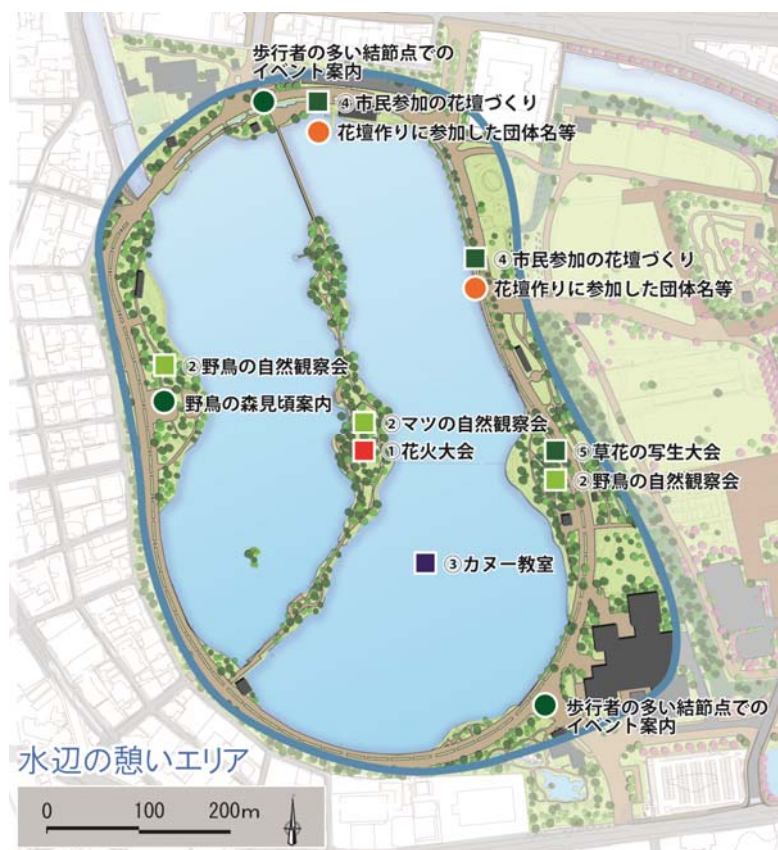
(2) エリアごとの企画運営目標

①水辺の憩いエリア

<企画運営目標>

- ・ 開放的な水環境と触れ合い楽しむ場
- ・ 緑や生き物と触れ合い、学ぶ自然体験の場

<凡例>	
イベント	
■	大型集客イベント
■	緑化啓発イベント
■	スポーツイベント
■	自然観察・体験イベント
■	文化系イベント
情報提供	
●	案内情報
●	管理情報



■イベント

区分	イベント例	連携可能性	内容
■ 大型集客イベント	① 花火大会 (打上場所)	おおほりまつり振興会 等	既存イベントの継続・拡充
■ 自然観察・体験イベント	② 自然観察会	自然に関する専門性の高いNPO 等	テーマや季節毎に設定
■ スポーツイベント	③ カヌー教室	福岡市カヌー協会、大濠公園ボートハウス 等	既存イベントの継続・拡充
■ 緑化啓発イベント	④ 市民参加の花壇づくり	教育機関、福祉施設、企業、公民館 等	既存イベントの継続・拡充
	⑤ 草花の写生大会	教育機関、福祉施設 等	既存イベントの継続・拡充

●情報提供

提供場所	提供内容	媒体
市民参加で作った花壇	a. 参加した市民や団体の名称、草花の種類	仮設掲示板等
野鳥の森	b. 見頃案内 (野鳥の飛来時期等)	仮設掲示板等
歩行者の多い結節点	c. イベント案内	仮設掲示板等

②芸術文化エリア

<企画運営目標>

- ・ 県・市の芸術文化に触れ合い、学ぶ場
- ・ 芸術文化を通じた、県民・市民の交流を育む場

<凡例>

イベント

- 大型集客イベント
- 緑化啓発イベント
- スポーツイベント
- 自然観賞・体験イベント
- 文化系イベント

情報提供

- 案内情報
- 管理情報



■イベント

区分	イベント例	連携可能性	内容
■ 大型集客イベント	①花火大会（見学会場）	おおほりまつり振興会 大濠公園能楽堂	既存イベントの継続・拡充（能と花火を楽しもう！）
■ 文化系イベント	②ジャズコンサート（能楽堂）	大濠公園能楽堂 ジャズバンド	既存イベントの継続・拡充
	③親子で楽しむ文化	大濠公園能楽堂 教育機関	既存イベントの継続・拡充（子どもと楽しむ古典芸能、子ども能楽教室、草ヶ江こども狂言会）
	④お茶会	市民サークル 県内の技能者 大濠公園日本庭園	既存イベントの継続・拡充（新緑の会、日本庭園茶会館抹茶優良サービス）
	⑤親子で楽しむ芸術	福岡市美術館 県内の芸術家 教育機関	既存イベントの継続・拡充（夏休みこども美術館、ファミリーDIY）
	⑥スケッチ大会	福岡市美術館 県内の芸術家 教育機関	公園全体を対象としたスケッチ大会（福岡市美術館をメイン会場として）
	⑦フォトコンテスト	県内の写真家 県民・市民	県民・市民の取った県内の風景等の写真コンテスト
	⑧演奏・大道芸	県内の演奏家・芸術家	小規模な演奏、大道芸などの披露

●情報提供

提供場所	提供内容	媒体
管理事務所	a. 公園全体の総合利用案内（イベント案内、見学会案内、利用受付案内、市民活動等の紹介、禁止事項の伝達、緊急連絡、芸術文化・歴史施設の案内、県・市の観光案内 等）	印刷物、電子媒体（電子掲示板・HP等）、スタッフ（窓口）による案内 等
能楽堂	b. 公園全体の総合利用案内 能楽堂の総合利用案内	印刷物、電子媒体、スタッフ（窓口）による案内 等
日本庭園	c. 公園全体の総合利用案内 日本庭園の総合利用案内	印刷物、スタッフ（窓口）による案内 等
福岡市美術館	d. 公園全体の総合利用案内 福岡市美術館の総合利用案内	印刷物、電子媒体、スタッフ（窓口）による案内 等

③交流広場エリア

<企画運営目標>

- ・公園中心に位置する、大規模な芝生広場を活用した、大規模なイベントを実施する場
- ・既存の季節ごとの大型集客イベントと連動した、メイン会場の場
- ・大型集客イベントを通じた国際交流を育む場

<凡例>

イベント

- 大型集客イベント
- 緑化啓発イベント
- スポーツイベント
- 自然観賞・体験イベント
- 文化系イベント

情報提供

- 案内情報
- 管理情報



■ イベント

区分	イベント例	連携可能性	内容
■ 大型集客イベント	① 四季のお祭り	さくらまつり実行委員会 おおほりまつり実行委員会 等	現在行われている大型集客イベントと連携し、物販・飲食・ステージイベントなどを交流広場で行う
	② 屋外コンサート	県民・市民サークル・団体 教育機関	交流広場にステージを設置し行うコンサート
■ スポーツイベント	③ スポーツフェスタ	県民・市民サークル・団体 教育機関 民間企業	交流広場、競技場を活用したスポーツ振興イベント 国際的な実施を目指す
■ 食・物販イベント	④ フリーマーケット	県内の事業者 県民・市民	交流広場で行う
	⑤ グルメフェスティバル	県内の事業者 県民・市民	交流広場を会場 県市や世界の名物グルメ 飲食・販売イベント
■ 緑化啓発イベント	⑥ 市民参加の植樹体験	教育機関、福祉施設、企業、公民館 等	交流広場整備時に一部の場所で植樹体験を実施
	⑦ 花祭り	教育機関	ボタン・シャクヤク園を中心とした、公園全体の花木観察会

● 情報提供

提供場所	提供内容	媒体
陸上競技場	a. 公園全体の総合利用案内 陸上競技場の総合利用案内	印刷物、電子媒体、スタッフ（窓口）による案内 等
歩行者の多い結節点	b. イベント案内	仮設掲示板等
市民植樹	c. 参加した市民や団体の名称、樹木の種類	仮設掲示板等

④鴻臚館エリア

<企画運営目標>

- ・福岡の歴史の重層性を体感する場

<凡例>	
イベント	
■	大型集客イベント
■	緑化啓発イベント
■	スポーツイベント
■	自然観賞・体験イベント
■	文化系イベント
情報提供	
●	案内情報
●	管理情報



■イベント

区分	イベント例	連携可能性	内容
■歴史系イベント	①バーチャルガイドツアー	福岡市観光案内ボランティア 教育機関	既存イベントの継続・拡充
	②歴史建造物ツアー	むかし探訪館 NPO 福岡城市民の会 福岡市観光案内ボランティア 教育機関	既存イベントの継続・拡充 (福岡城見学イベントとの連携)
	③生活体験・食体験	県内の事業者 県民・市民 教育機関	古代の生活や食文化を体験 するイベント

●情報提供

提供場所	提供内容	媒体
鴻臚館展示館	a. 公園全体の総合利用案内 鴻臚館の案内	印刷物、電子媒体、スタッフ（窓口）による案内 等
	b. ボランティアガイドによる公園案内	既存ガイドツアーとの連携

⑥エントランスエリア

<企画運営目標>

- ・来園者へのおもてなしを演出する場
- ・大型集客イベントと連動した、小会場となる場



■イベント

区分	イベント例	連携可能性	内容
■食・物販イベント	①フリーマーケット	県内の事業者 県民・市民	裁判所跡地の芝生広場他エントランスの広場を会場
	②グルメフェスティバル	県内の事業者 県民・市民	裁判所跡地の芝生広場他エントランスの広場を会場 県市の名物グルメ飲食・販売イベント
■緑化啓発イベント	③市民参加の花壇づくり（公園入口の修景）	教育機関、福祉施設、企業、公民館 等	既存イベントの継続・拡充（ひまわりの種植え付け・花育成イベントチャレンジ）

●情報提供

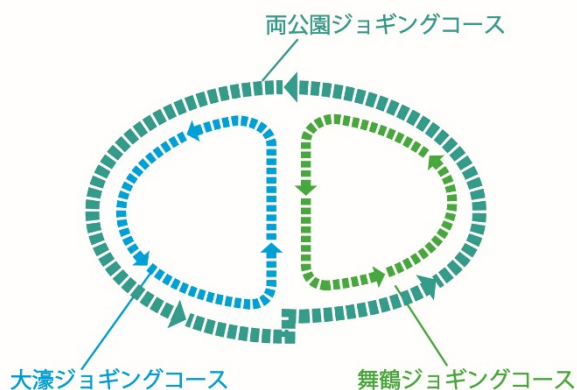
提供場所	提供内容	媒体
公園入口付近	a. 公園全体の総合利用案内（イベント案内、見頃案内、利用受付案内、禁止事項の伝達、芸術文化・歴史施設の案内 等）	掲示版、電子媒体（電子掲示版・HP等）
	b. ボランティアガイドによる公園案内	ボランティアガイドが現地で説明・案内
歩行者の多い結節点	c. イベント案内	仮設掲示版等
市民参加の花壇	d. 参加した市民や団体の名称、草花の種類	仮設掲示版等

(3) 両公園を巡る利用プログラム

ここでは、利用者の目的に応じた回遊コースの設定を行い、両公園を一体的に巡る利用プログラムの検討を行います。

① ジョギングコース

大濠公園の周回園路で行われているジョギングが、舞鶴公園でもできるようになり、水辺の景色を楽しみながら走れる大濠ジョギングコース、歴史的な景色や緑の景色を楽しみながら走れる舞鶴ジョギングコース、その両方と街並みを楽しむことができる両公園ジョギングコースという3つのコースを実現できるよう設定します。



図：コース設定概念図



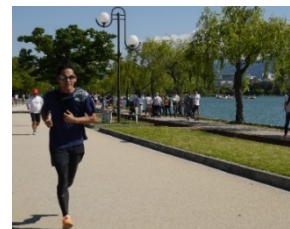
図：ジョギングコース

■ジョギングコース

区域		大濠公園						舞鶴公園								
地点		大濠公園入口	⇒	能楽堂	⇒	美術館	⇒	多聞櫓前	⇒	鴻臚館	⇒	陸上競技場	⇒	西側広場	⇒	大濠公園入口
距離		-	240	-	1200	-	420	-	570	-	480	-	400	-	200	-
所要時間	ジョギング	-	1.8	-	8.9	-	3.1	-	4.3	-	3.6	-	3	-	1.5	-
	ウォーキング	-	2.6	-	12.9	-	4.5	-	6.1	-	5.1	-	4.3	-	2.1	-
一周																
距離												3510 m				
所要時間	ジョギング											26.2 分				
	ウォーキング											37.6 分				

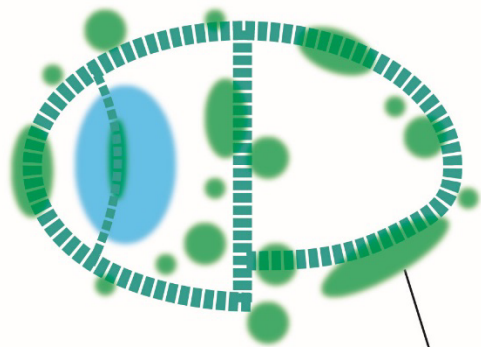
設定速度は「ランニング(8.3メッツ)」: 134.1 [m/分]
「歩行(運動目的で歩く)」: 93.3 [m/分]

図：モデルコースの所要時間



② 自然観察コース

土塁上の緑や、野鳥の森、大濠の水辺など通年自然観察を楽しむことができる場所をつなぐコースを設定します。また、花々や紅葉などの季節ごとに楽しむことができる場所について、季節ごとのコースを設定します。



両公園内の自然の観察スポット

図：コース設定概念図



図：自然観察コース

■自然観察コース(5月のコース)

	水辺			ボタン・シャクヤク			フジ			ハナショウブ			巨木			水辺		
主な見所	大濠公園駅	⇒	舞鶴公園	⇒	御高屋敷跡	⇒	藤棚	⇒	菖蒲園	⇒	南側土塁	⇒	上之橋	⇒	お堀端	⇒	赤坂駅	
滞在時間	-	-	15	-	30	-	10	-	10	-	20	-	5	-	5	-	-	
距離	-	120	-	480	-	160	-	340	-	340	-	800	-	200	-	120	-	
所要時間	-	2.3	-	9	-	3	-	6.4	-	6.4	-	15	-	3.8	-	2.3	-	
くくり	水辺を楽しむ			花を楽しむ						緑と史跡を楽しむ						水辺と緑を楽しむ		
所要時間	17.3分			74.8分						40分						7.3分		

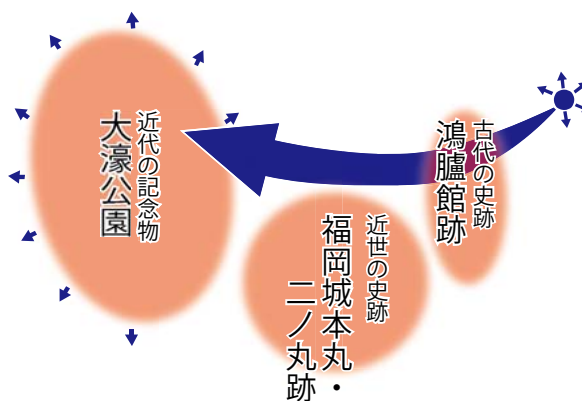
設定速度は「散策、とてもゆっくり歩く」： 53.3 [m/分]

図：モデルコースの所要時間

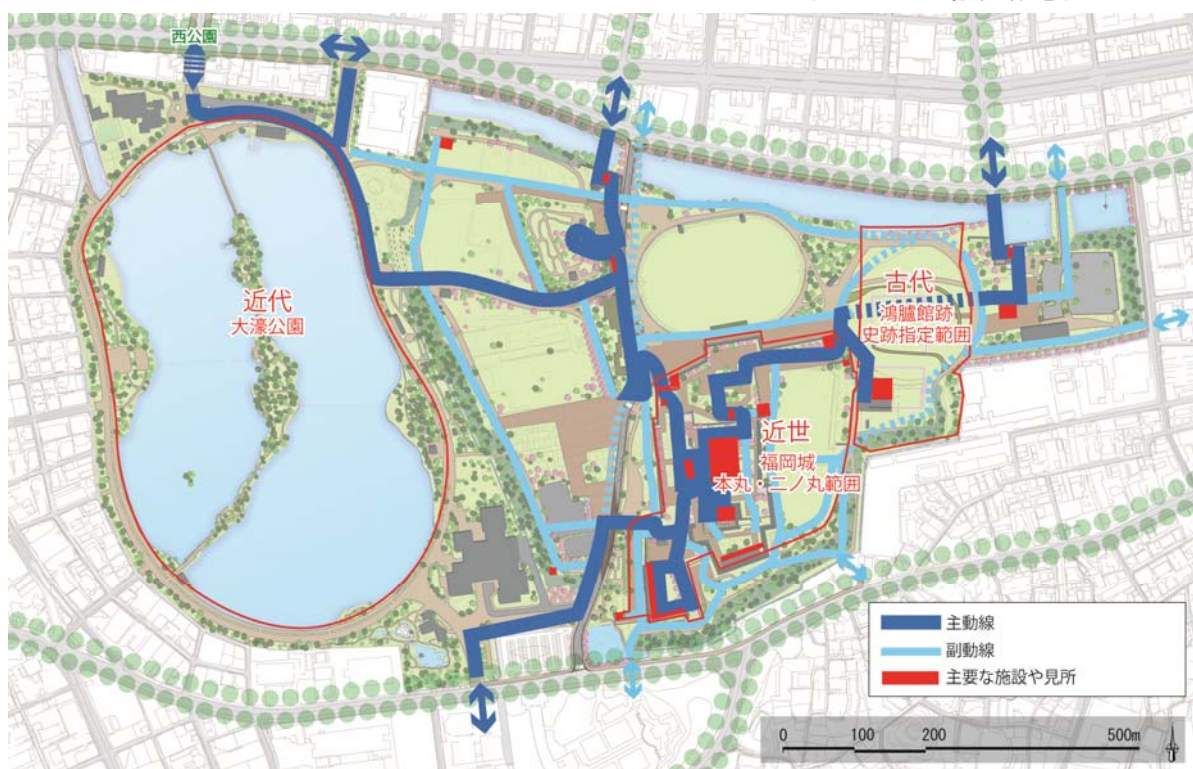
③ 歴史探訪コース

上之橋御門から鴻臚館跡、福岡城跡、大濠公園へとつながる動線を設定します。

まずはガイダンス施設で福岡の歴史を学び、そこから実際に鴻臚館跡や福岡城本丸・二ノ丸を歩くことで、古代から現代につながる福岡の歴史を体感できるコースとします。



図：コース設定概念図



図：歴史探訪コース

■ 歴史探訪コース

歴史探訪コース																								
時代	エントランス				<古代>				<近世>												<近代>			
主な見所	赤坂駅	⇒	上之橋	福岡城跡・ガイダンスセンター	⇒	鴻臚館跡	⇒	鴻臚館展示館	⇒	扇坂	⇒	天守台・武具櫓	⇒	多聞櫓	⇒	松木坂	⇒	御高屋敷	⇒	下之橋	⇒	大濠公園	⇒	大濠公園駅
滞在時間	-	-	10	20	-	30	-	90	-	10	-	40	-	30	-	10	-	20	-	10	-	30	-	-
距離	-	220	-	-	240	-	180	-	240	-	280	-	280	-	240	-	200	-	200	-	360	-	240	-
所要時間	-	4.1	-	-	4.5	-	3.4	-	4.5	-	5.3	-	5.3	-	4.5	-	3.8	-	3.8	-	6.8	-	4.5	-
<<り	駅→入口				鴻臚館→福岡城二の丸				二の丸→本丸→三の丸								三の丸→大濠公園				駅まで			
所要時間	38.6分				137.9分				98.9分								40.6分				34.5分			

設定速度は「散策, とてもゆっくり歩く」:

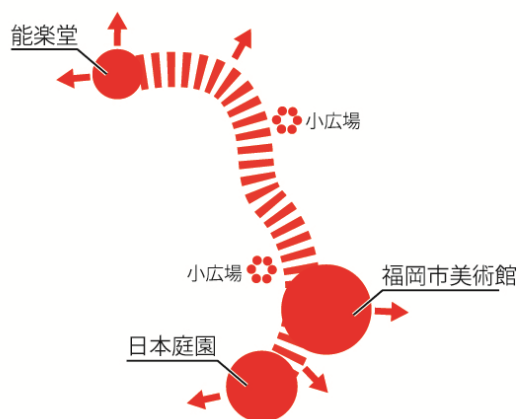
53.3 [m/分]

図：モデルコースの所要時間

④ 芸術文化コース

能楽堂、福岡市美術館、日本庭園をつなぐ動線を芸術文化コースとして設定します。

芸術文化施設の間には、パブリックアートの設置を検討するとともに、小規模な演奏や大道芸などのイベントを開催することができる小広場を設け、屋外で行われる芸術文化活動を楽しむことができます。地下鉄大濠公園駅をはじめとする周辺の駅やバス停を利用して訪れる人々がアクセスしやすいコースとします。



図：コース設定概念図



図：芸術文化コース

■芸術文化コース

■公園文化コース													
		エントランス			ハイカルチャー			市民パフォーマンス			ハイカルチャー		
主な見所	六本松駅	⇒	日本庭園	⇒	美術館	⇒	西側広場	⇒	能楽堂	⇒	大濠公園駅		
滞在時間	-	-	60	-	90	-	30	-	120	-	-		
距離	-	900	-	200	-	520	-	480	-	440	-		
所要時間	-	12	-	2.7	-	6.9	-	6.4	-	5.9	-		
くくり	駅→入口		公園内の移動										
所要時間	12分		21.9分										



設定速度は「歩行 散歩, ほどの速さ」:

75 [m/分]

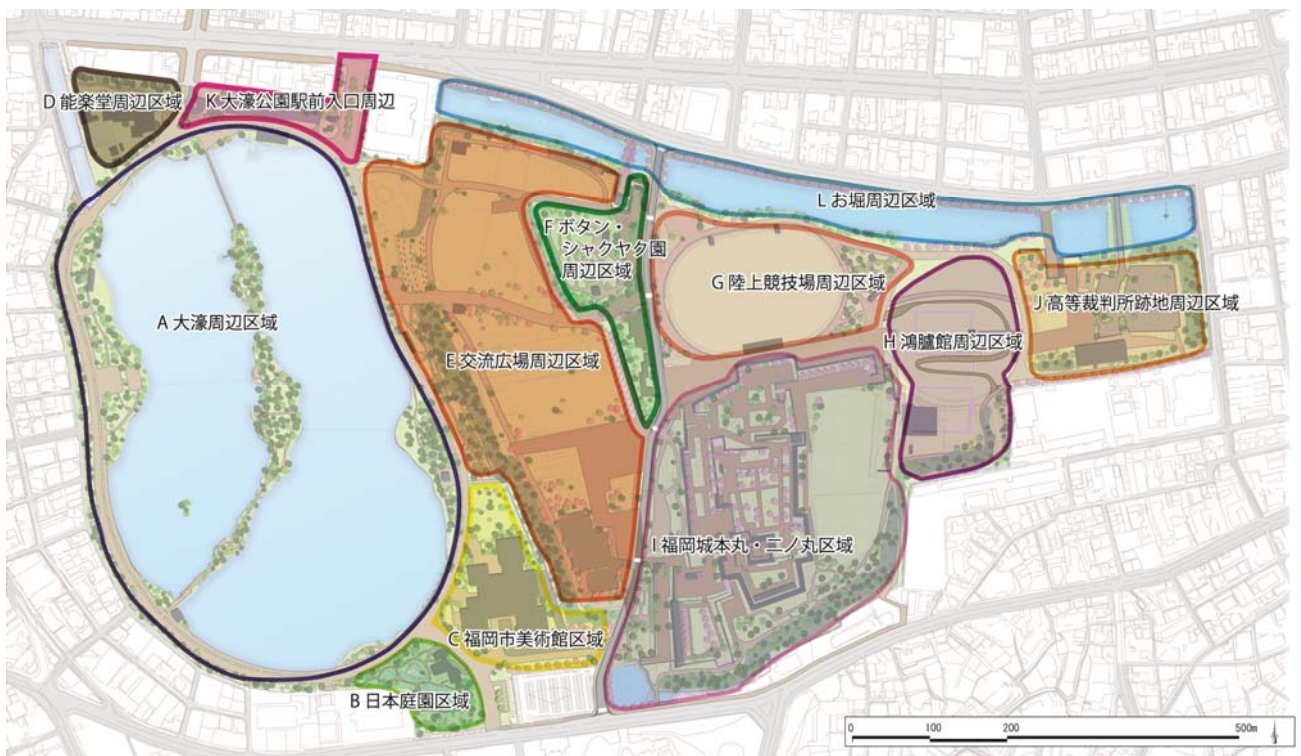
図：モデルコースの所要時間

3. 維持管理計画

来園者の安全で快適な利用に向け、史跡や生物多様性に配慮したうえで両公園の拠点性や機能を発揮させるための適正な維持管理により、公園施設の機能の確保が必要となります。ここでは維持管理の基本的事項や管理運営方針で示したAからLまでの区域ごとの維持管理目標を定めるものとします。

(1) 維持管理の基本的事項

大濠公園・舞鶴公園の維持管理としては、公園の特徴的要素となる歴史的建造物や遺構の保全をはじめとして、植物やその基盤となる土や水、そこに生息する動植物なども含め、両公園一体として守り・育てていくものとします。また、公園利用者に対しては、公園を清潔に保ち、快適でわかりやすい利用を提供するとともに、樹木や施設の異常を早期に発見、速やかに対応することで安全を確保し、日頃からの機能確保に努めるものとします。



■公園全体における施設ごとの維持管理の基本的事項

管理対象	主な特性や機能	維持管理の基本的事項
樹木	公園における豊かな緑陰だけでなく、桜の名所や生き物を育む空間を形成	樹木による修景、緑陰、遮蔽、生物多様性等の機能を維持するため、形態・生態における維持を図る。特に、大濠公園と舞鶴公園との一体感や、史跡への見通しを高める樹木整理や、剪定、桜の保全に努める。
芝生地・草地	都心部における貴重な広場としての芝生地や、希少種も育む草地を形成	芝生地においては、日常的なレクリエーションやイベントなど利用に合わせた維持を図る。また、草地では、雑草の繁茂の抑制的管理だけでなく、希少種の保全も努める。
花壇	エントランスや園路沿いを彩る花壇を形成	四季を通じて花を楽しむことのできる花壇として空間演出を図り、また県民・市民とともに育む体制により維持を行う。
園路・駐車場	各施設をつなぎ、散策やジョギング等に利用される園路やエントランスとしての駐車場・広場を形成	安全で快適に利用できるよう点検、清掃を行い、破損等が確認された場合は早急に補修を行う。
遊具広場	遊具やベンチ等が設置され、子供の遊び場を形成	安全で快適に利用できるよう点検を重点的にを行い、補修等が必要な場合は速やかに行う。
建物	園内各所に芸術文化施設、ガイダンス施設、お店、休憩施設が拠点施設として形成	来園者が分かりやすく快適に利用できるよう、建物施設の点検・清掃・補修を行う。
トイレ	排泄の用を足すための設備を備えている場所であり公園内の各所に点在	来園者がいつでも快適に利用でき安全で衛生的な状態を保つよう、点検、清掃、消耗品の補充を行う。
水辺 (大濠池・お堀)	大濠池を中心として、お堀の水辺が都心部における豊かな水辺空間を形成	浄化施設の清掃やハスの管理による富栄養化の防止、定期的な汚泥除去等による水質保全を図る。
歴史的 建造物	福岡城や鴻臚館における復元建物が整備され、歴史の学習拠点を形成	歴史性を損なうことなく、来園者が分かりやすく学習するための清掃・点検・修繕等を行う。
石垣	舞鶴公園内において石垣が残る	巡回点検による破損個所の速やかな発見と、定期的な除草等による保全を行う。
サイン	公園のガイドマップ等、来園者の利便性向上・公園利用の促進に資するもの	定期的な巡回により、来園者が公園を利用しやすいよう、破損の確認や清掃・補修を実施する。公園管理者及び施設間の密な情報共有により、情報に変更を生じた際には速やかに反映する。
工作物	簡易柵等の来園者の安全確保や、自動販売機・公衆電話等の利便性向上に資するもの	公園利用の安全確保や利便性向上のため、定期的な巡回による破損の確認や清掃・補修を実施する。
バックヤード	管理作業ヤード及び資材等の置き場に活用する	安全管理に留意して、来園者の立ち入りを規制する。

■公園全体における施設ごとの管理共通項

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	来園者の安全確保、景観の維持・向上、植物の健全育成のため、適切な頻度による剪定や施肥等の管理を行う。
芝生地・草地	芝刈り、施肥、病虫害防除、目土掛け等	来園者の安全や既存樹根本等に配慮し、健全な芝の育成に努める。
花壇	地拵え、苗植付、巡回管理、灌水等	来園者の目を楽しませる、季節の草花による演出を行い、日常的な管理を実施する。
園路・駐車場	点検・清掃・修繕等	園路や駐車場の日々の清掃・点検に努め、園路の舗装について、破損箇所などは速やかな修繕を行う。
遊具広場	清掃、安全点検等	日々の清掃・点検に努め、来園者が安心して利用できるよう維持する。
建物	清掃、設備点検・清掃・修繕等	休憩施設等の日々の清掃に努め、清潔な公園を維持し、必要な設備点検・清掃・修繕等を行う。
トイレ	清掃、設備点検・清掃・修繕等	日々の清掃・定期的な消耗品の管理に努め、清潔に保ち、必要な設備点検・清掃・修繕等を行う。
水辺 (大濠池・お堀)	池定期点検・清掃、設備点検・清掃・修繕等	定期的な清掃、設備点検・清掃・保守および補修等を行う。
歴史的建造物	清掃、点検・清掃・修繕等	歴史資源の修繕・復元・整備・点検にあたっては、専門的技術・知識を有する技術者のもと、適正に実施する。
石垣	清掃、点検・清掃・修繕等	石垣の保全を行うため、日常的な巡視点検による破損箇所等の速やかな発見に努める。歴史資源の修繕・復元・整備・点検にあたっては、専門的技術・知識を有する技術者のもと、適正に実施する。
サイン	点検・清掃・修繕等	定期的な清掃、点検・清掃・保守および補修等を行う。イベント時等、仮設的な設えが必要な場合は、適時実施する。
工作物	点検・清掃・修繕等	定期的な清掃、点検・清掃・保守および補修等を行う。
バックヤード	点検・清掃・修繕等	定期的な清掃、設備点検・清掃・保守および補修等を行う。

(2) 区域ごとの維持管理目標

維持管理の基本的事項を踏まえ、区域ごとの具体的な維持管理の目標を定めます。なお、各区域の管理内容に関しては、前節の公園全体における施設ごとの管理共通項とは別に、必要となる管理項目・管理目標を以下に整理しています。

A：大濠周辺区域



■大濠周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草、生き物の生息地に配慮した刈残し等	花木の剪定時期の注意や野鳥の森等における生き物への配慮を行う。
花壇	地拵え、苗植付、巡回管理、灌水等	市民参加によってつくられた花壇の管理に関しては、参加者の意向を踏まえて植え替え等を実施する。
園路・駐車場	点検・清掃・修繕等	園路や駐車場の日々の清掃・点検に努め、ジョギングコースにおけるゴムチップをはじめ、その他園路の舗装について、破損箇所などは速やかな修繕を行う。
水辺	池定期点検・清掃、設備点検・清掃・修繕等	大濠池及び関連施設の定期的な清掃、設備点検・清掃・保守および補修等を行い、博多湾海域等に影響がないよう注意を払う。

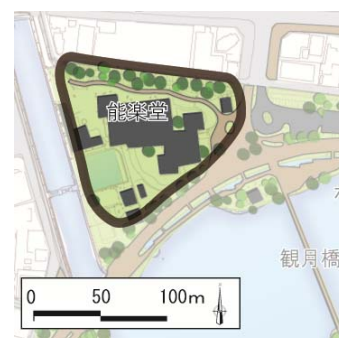
B：日本庭園区域



C：福岡市美術館区域



D：能楽堂周辺区域



■日本庭園区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	日本庭園の本来の様式や風情を維持する為、専門的技術・知識を有する技術者によるきめ細やかな管理を行う。
芝生	芝刈り、施肥、病虫害防除、目土掛け等	鑑賞・修景を主目的とした芝地として、きめ細やかな管理のもと、健全な芝の育成に努める。
園路	点検・清掃・修繕等	多くの来園者の利用を想定し、日本庭園の様式や美観を維持するため、日常的な巡視点検・清掃を行う。破損箇所などは速やかな修繕を行う。
水辺	池定期点検・清掃、設備点検・清掃・修繕等	大池及び関連施設の定期的な清掃、設備点検・清掃・保守および補修等を行い、日本庭園の美観に影響がないよう注意する。
その他庭園施設	点検・清掃・修繕等	枯山水庭、露地庭、庭橋等、大濠公園日本庭園を構成する種々の施設等に関しては、本来の様式や風情を維持する為、日常的な管理をきめ細やかに実施に努める。

■福岡市美術館区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	福岡市美術館と調和した樹姿の維持に努める。
園路・駐車場	点検・清掃・修繕等	福岡市美術館を訪れる来園者による高頻度の利用を想定し、園路や駐車場の日々の清掃・点検に努め、破損箇所等は速やかな修繕を行う。

■能楽堂周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	能楽堂と調和した樹姿の維持に努める。
園路	点検・清掃・修繕等	能楽堂を利用する来園者による高頻度の利用を想定し、園路の日々の清掃・点検に努め、破損箇所等は速やかな修繕を行う。

E：交流広場周辺区域



■交流広場周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	開放的な空間の演出を行うため、枝張りの良い大径木への健全な生育を図りつつ、公園の連続性を保つため、見通しを確保するための樹木の剪定や伐採等を行う。
芝生	芝刈り、施肥、病虫害防除、目土掛け、エアレーション等	イベントでの利用や広場での動的使用を通じた、踏圧による生育不良の防止に努める。
遊具広場	清掃、安全点検等	子供の広場の遊具について、日々の清掃・点検に努め、来園者が安心して利用できるよう維持する。

F：ボタン・シャクヤク園周辺区域



G：陸上競技場周辺区域



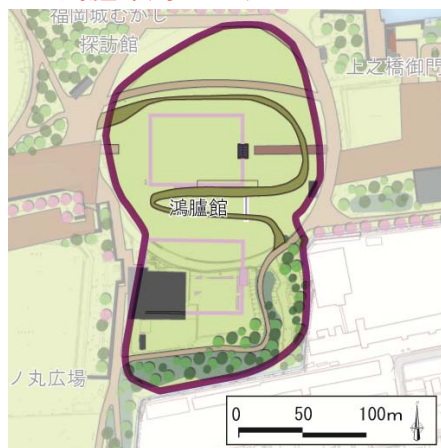
■ボタン・シャクヤク園周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	ボタン・シャクヤクフジを再生し、来園者が過ごしやすい緑陰の形成を目指す。
花壇	地拵え、苗植付、巡回管理、灌水、除草等	来園者の目を楽しませるいりとりどりのボタン・シャクヤクフジを健全に育成させる。除草・灌水・花柄つみ等、細やかな管理を継続し、良好な開花状況を目指す。

■陸上競技場周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	競技場利用者が過ごしやすい緑陰の形成を目指す。
芝生	芝刈り、施肥、病虫害防除、目土掛け、エアレーション等	競技観覧者が利用する芝生地は、踏圧による生育不良の防止に努める。

H：鴻臚館周辺区域



■鴻臚館周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	将来的な鴻臚館復元を想定し、支障となる樹木の剪定・伐採・抜根等を適切に実施する。鴻臚館展示館周辺は、建築や歴史的な風情に調和した樹姿を維持する。

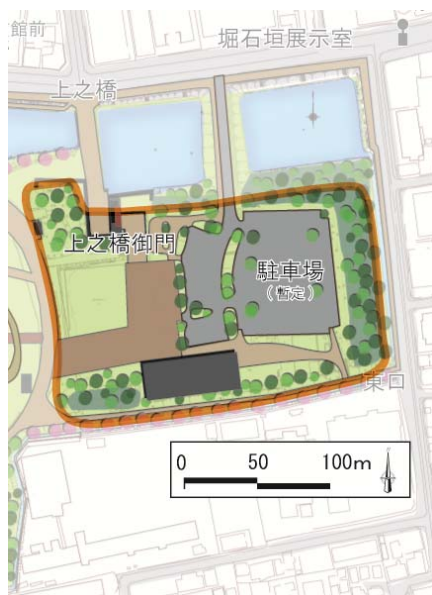
I：福岡城本丸・二ノ丸区域



■福岡城本丸・二ノ丸区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	多聞櫓、武具櫓、石垣等、歴史資源を保全・活用する上で、支障となる樹木の剪定・伐採・抜根等を適切に実施するとともに、歴史的な風情を維持するため、樹姿の維持に努める。サクラの見所として、サクラの保全に努める。新たに植栽を行う場合は、歴史的な風情に調和した樹種を選定し、植え付け箇所にも配慮する。
芝生	芝刈り、施肥、病虫害防除、目土掛け等	歴史的な風情を保つため、美観を維持するきめ細やかな管理を行う。
歴史的建造物	清掃、点検・清掃・修繕等	多聞櫓、武具櫓、石垣等、歴史資源の保全を行うため、日常的な巡視点検による破損箇所等の速やかな発見に努める。

J：高等裁判所跡地周辺区域



■高等裁判所周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	歴史的資源を保全・復元を実施する上で支障となる樹木の剪定・伐採・抜根等を適切に実施する。ガイダンス施設周辺は、建築と調和した樹種選定や樹姿の維持管理を行う。
芝生	芝刈り、施肥、病虫害防除、目土掛け、エアレーション等	動的使用が行われることが想定される芝生広場においては、踏圧による生育不良を防ぐため、きめ細やかな管理を実施する。
花壇	地拵え、苗植付、巡回管理、灌水等	エントランスや園路沿いの花壇において、巡回管理に努め、歴史的な風情に調和しつつ、来園者をもてなす空間として、目を楽しませる季節の草花による演出を行う。
園路・駐車場	点検・清掃・修繕等	歴史的な地割を損なうことのないよう、整備・修善にあたっては、専門的技術・知識を有する技術者のもとで、実施する。
歴史的建造物	清掃、点検・清掃・修繕等	土塁の保全を行うため、日常的な巡視点検による破損箇所等の速やかな発見に努める。

K：大濠公園駅前入口周辺区域



■大濠公園駅前入口周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	エントランスとして、樹種ごとの樹姿を活かした剪定や、生長に応じた適正な密度管理を実施し、もてなしの空間としての演出を図る。
芝生	芝刈り、施肥、病虫害防除、目土掛け等	きめ細やかな管理のもと、公園のエントランスとしての美観を維持する。
花壇	地拵え、苗植付、巡回管理、灌水等	エントランスや園路沿いの花壇において、巡回管理に努め、来園者が最初に訪れる場所として、四季の草花による季節感の演出を行う。

L：お堀周辺区域



■お堀周辺区域の管理目標

管理対象	管理項目	管理目標
樹木 (低中高木)	剪定、施肥、病虫害防除、植栽地除草等	石垣等の歴史的資源を保全・復元を実施する上で、支障となる樹木の剪定・伐採・抜根等を適切に実施する。
花壇	地拵え、苗植付、巡回管理、灌水等	来園者のみならず、お堀沿いを通る県民・市民の目を楽しませる季節の草花による演出を行う。
水辺	池定期点検・清掃、設備点検・清掃・修繕等	お堀及び関連施設の定期的な清掃、設備点検・清掃・保守および補修等を行い、博多湾海域等に影響がないよう注意を払う。
石垣	清掃、点検・清掃・修繕等	石垣の保全を行うため、日常的な巡視点検による破損箇所等の速やかな発見に努める。歴史資源の修繕・復元・整備点検にあたっては、専門的技術・知識を有する技術者のもと、適正に実施する。

4. 地域連携・体制づくり

ここでは、周辺地域との連携によるまちづくりとの一体化や、民間活力による魅力づくり、県民・市民共働の体制づくり、**一体的な整備と運営を支援・継続するための仕組みづくり**について、取組みの方向性を示します。

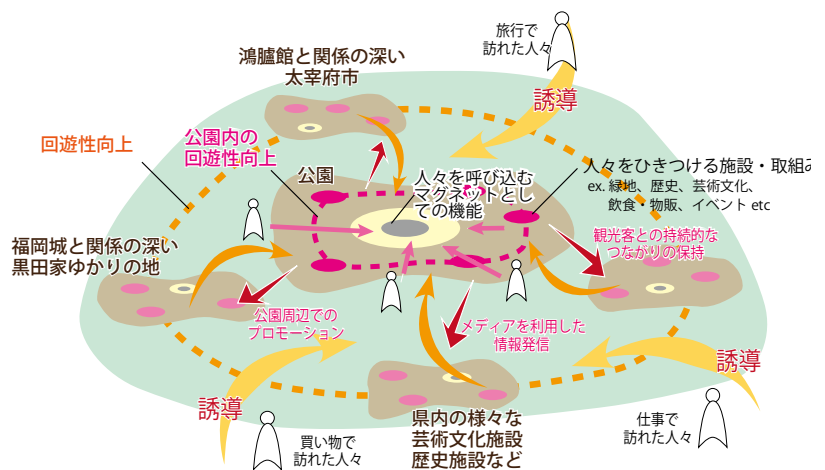
(1) まちづくりとの一体化

大濠公園・舞鶴公園の運営は、近隣住民や教育機関等の利活用への展開はもとより、県・市の観光や経済、教育など各分野のまちづくりの拠点となるよう結びつけていく必要があります。ここでは、「公園の中のまち」を目指し、両公園を中心とした一体的なまちづくりの考え方を示します。

① 広域連携

様々な目的で福岡を訪れた人々を両公園に誘導することを目的に、**県内の様々な地域**における多様な場所や活動と公園利用との連動を図ります。

具体的には、イベントや活動の一体化や魅力的な施設の設置により、公園に人々を呼び込むマグネットとしての機能をもたせ、外への情報発信と併せて、**広域**での回遊性向上につなげます。



図：広域連携の概念図

② 公園と一体的な街並みづくり

公園と一体となった緑化推進のため、街路樹の落葉清掃や剪定など、公共空間におけるみどりの管理運営をはじめとして、民間施設の壁面や店先の緑化などを促します。公園や史跡の景観等に配慮した街並みのルールづくりに取り組みます。**また、公園内の芸術文化の雰囲気が周辺へと広がりをみせるよう、パブリックアート等の設置を検討し、周辺の芸術文化施設への回遊へとつなげます。**



図：街並みづくりイメージ

③ 民有地の活用

近隣の民有地の公園への近接性というメリットを活かし、駐車場や店舗、ロッカー・シャワールームなどの機能の充実を図ります。

(2) 民間活力による魅力づくり

県内・市内の企業や各種団体、県民市民等の意欲、ノウハウや資金など、民間活力の導入による魅力づくりの考え方を示します。

①整備・運営に関わる民間資産・ノウハウの活用

公園の利便性や快適性の向上につなげるため、民間のノウハウを活用した設置管理許可による便益施設の整備・運営に取り組むとともに、民間企業の営業・広報活動を通じたイベントやコミュニティ活動への支援や、メディアとの連携によるPRにより、利用者のニーズに応じたサービス提供に取り組みます。

上記にあたっては、必要な人材確保や育成を行いながら、公園と企業の双方にとって、効率的かつ効果的な戦略を立てながら取り組みます。

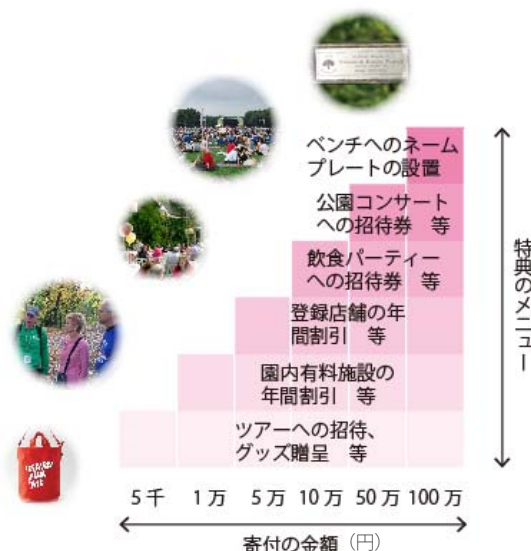


写真：西南の杜湖畔公園レストラン

②公園財源確保に向けた制度づくり

公園の財源確保の窓口を広げるために、公園基金の設置や拡充を行うとともに、管理運営費を支援する公園サポーター制度の導入により、寄付の金額によって様々な特典メニューを設け、継続的な寄付と公園利用につなげます。

また、ネーミングライツによる広告収入などを実現するための広告物等のルールづくりを検討していきます。



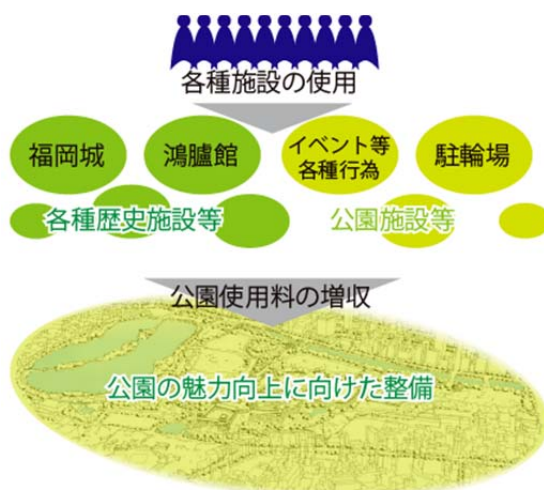
図：ニューヨークセントラルパークの仕組みを参考とした寄付と特典のメニューイメージ

③料金徴収制度の導入

両公園において質の高い維持管理など、充実した管理運営を行うため、各種施設の利用料金制度の導入を検討します。

また、新たな集客イベントの受入れを促進することにより、占用料や使用料の収入増加に取り組めます。

なお、駐輪場の利用料金制度の導入にあたっては、公園利用者以外の駐輪が目立つ現状の改善につなげます。



図：料金徴収促進による魅力向上

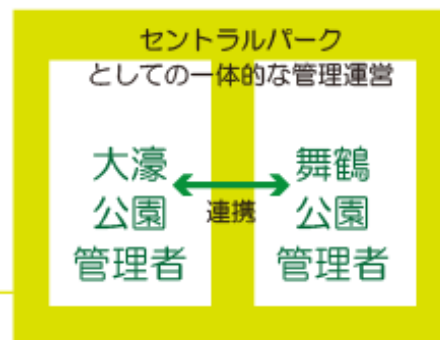
(3) 県民・市民共働の運営体制・仕組みづくり

様々な世代の県民・市民の参画により公園を様々な連携体制の中で「みんなで育てる」ための体制・仕組みづくりを示します。

①両公園の一体的な運営体制づくり

大濠公園・舞鶴公園の管理者連携による一体的な管理運営体制の構築を図ります。

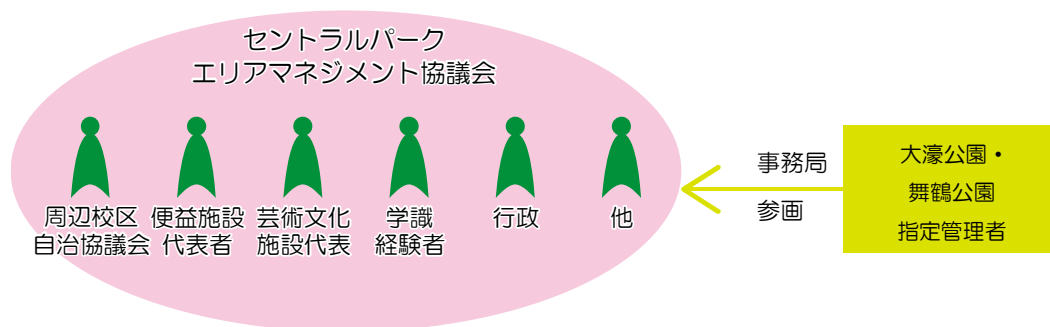
また、平成27年度に設置した「大濠・舞鶴公園連絡会議」をはじめとした、両公園の管理者と指定管理者の連携により、まずは公園の統一的な運用や総合的な企画推進などを進めていきます。



図：一体的な管理運営

②公園内外の関係者が連携する体制づくり

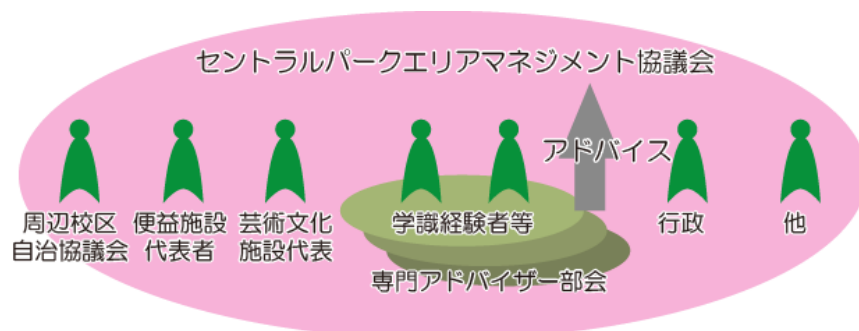
両公園の管理運営に関する協議や意思決定を行う組織として、「(仮称) セントラルパークエリアマネジメント協議会」を設立するなど、関係団体と一体となった協議の場の仕組みづくりを検討していきます。体制のイメージとしては、両公園の指定管理者が事務局となって会議を運営し、行政や学識経験者、園内の施設代表者、公民館や校区の自治協議会などの地元代表、ボランティアなどの園内活動団体代表が加わり、公園に係る様々な取組みの連携に向けた協議・検討や情報共有を行います。セントラルパークエリアマネジメント協議会を通して行政、専門家、民間、地元、公園利用者が一堂に会し、情報共有や協議を行いながら、周辺地域でのイベントとの連動や、周辺地域と一体となった体制づくり、県民・市民の意見を反映できる体制づくりを含めて検討していきます。



図：セントラルパークエリアマネジメント協議会の体制

③専門的見地を取り入れる体制づくり

施設を整備する場合の統一的なデザインの保持や、樹木など動植物の適切な管理、史跡との整合などの課題について専門的な見地からアドバイスを受けるため、必要に応じて、分野ごとに、学識経験者らで構成する「専門アドバイザー部会」を設け、意見を取り入れる体制を構築します。



図：専門アドバイザー部会のイメージ

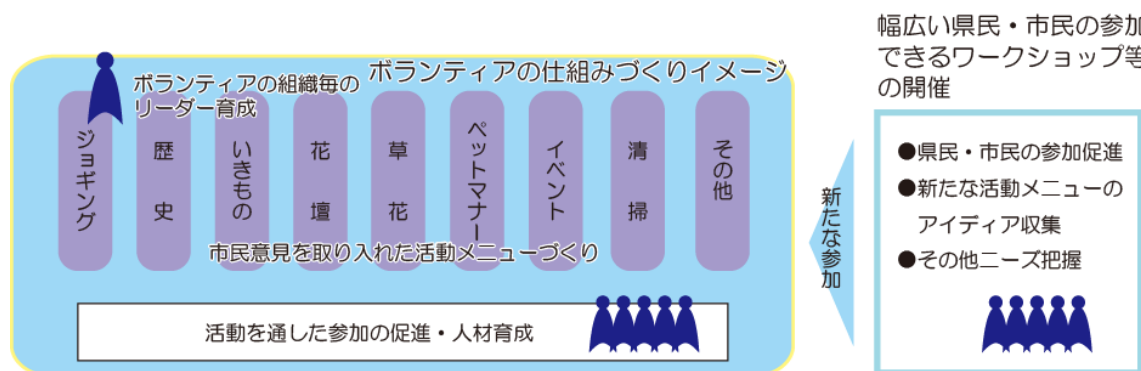
④市民共働を育む体制づくり

両公園が県民・市民に愛され、より地域に根付く公園としていくため、ガイドボランティアや清掃活動など、管理運営への県民・市民の参加の仕組みづくりを検討していきます。

活動メニューは、公園利用者からの意見を取り入れたものとし、観光客などに向けて文化財の価値を伝えるためのものや、芸術文化の魅力を伝えるためのもの、日常的な公園利用者のためのものなど、グループや対象者毎にバランスを取りながらプログラムの企画・実施を行います。また、必要な講習会の開催や、ボランティアグループの交流会の実施など、技術の習得や管理運営に関わることへの意欲を促す取組みを行い、さらなる参加の促進やボランティアの人材育成につなげていきます。

また、定期的にワークショップ等を開催し、新たなボランティアへの参加のきっかけづくりとするとともに、県民・市民のニーズ把握やアイデア収集の場として活用していきます。

公園の管理運営に子供たちが興味を持てるよう、花壇への花々の植え付けや清掃活動などに周辺の小中学生が参加しやすい仕組みづくりを行います。

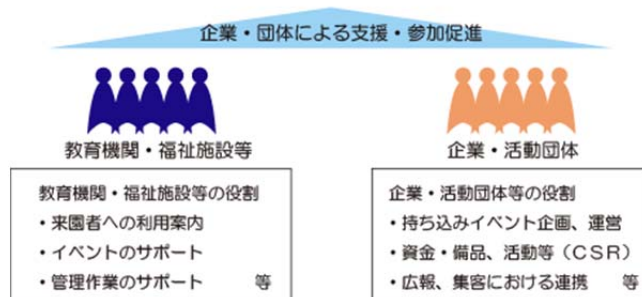


図：県民・市民参加の仕組みづくり

⑤企業や団体との連携

セントラルパークとしての魅力を一層高め、福岡の地域・経済の活性化に役立てるため、企業や各種団体の知恵、労力、資金などを受入れ、効果的に活用していくシステムやプロジェクトなどを検討します。具体的には、企業CSR、NPOとの連携によるイベントの企画・運営や、資金や活動面での支援、教育、福祉施設との連携による日々の管理作業やイベントのサポート等が考えられ、互いにメリットのある連携・活用の方策等を検討していきます。

公園のボランティア活動等

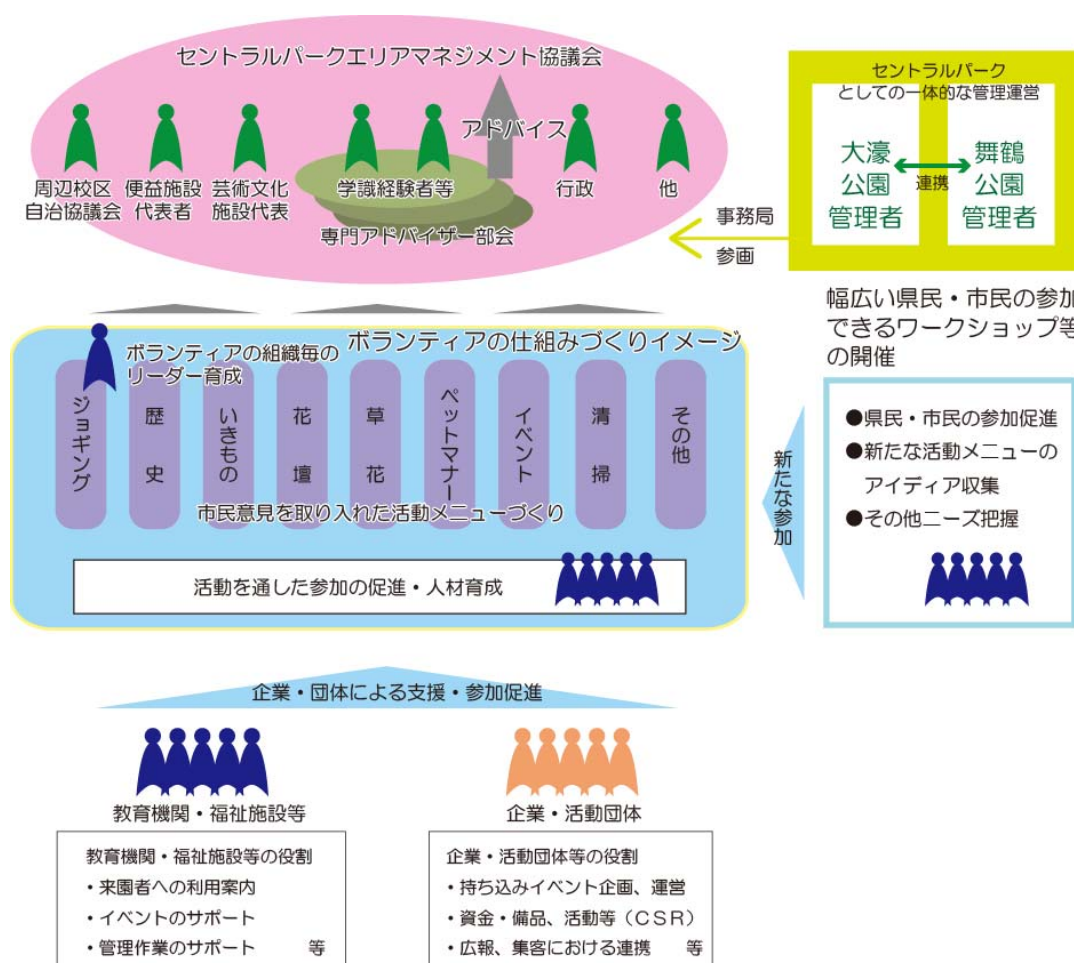


写真：造園団体によるボランティア活動（石垣除草）

図：企業や団体との連携イメージ

⑥共働によるパークマネジメントの全体像

多くの県民・市民の共働によるパークマネジメントの全体像として、①～⑤の考え方を体系的に整理します。様々な連携が関係し合いながら、公園の管理運営の発展へと展開していきます。



図：パークマネジメントの全体像